

2016年2月4日

プレスリリース

関西ペイント株式会社  
関西ペイント販売株式会社

## 「快適生活提案塗料シリーズ」新製品発売開始のお知らせ

関西ペイント株式会社（本社：大阪市、石野 博社長）ならびに関西ペイント販売株式会社（本社：東京都、毛利 訓士社長）は、あらたな付加価値を提案する「快適生活提案塗料シリーズ」の流れを汲む新製品、高耐候性水系上塗塗料『アレスダイナミックTOP』を発売することになりましたので、お知らせいたします。

記

### 『アレスダイナミックTOP』

塗膜破壊を引き起こす原因物質「ラジカル」は、塗料成分のひとつ「酸化チタン」に紫外線が当ることで発生し、塗膜劣化を促進させます。□

『アレスダイナミックTOP』は、関西ペイントテクノロジーにより塗膜劣化の原因物質であるラジカルの発生を抑え、樹脂性能を最大限に引き出した高耐久性水系上塗塗料です。

機能としては、超低汚染・防かび・防藻を付与、艶の仕上がりは艶ありから3分艶までお客様のニーズに合わせ選択できるようになっております。

又、昨年上市致しました『アレスダイナミックフィラー』同様、強化剤と組み合わせることで付着力を強化し、これまで難しいとされてきた湿潤面・高湿度環境でも塗装適正を有し、天候に左右されがちな外装塗替工事において、従来は塗装を回避するような条件であっても、適切な養生をおこない本品を使用することにより、工期のずれを埋め、お施主様へ予定通りのお引渡しをサポートすることができます。

強化剤はフィラーとTOPとの共用タイプとし、販売店様、施工店様においての在庫負担軽減、刻々と変化する条件下でもフレキシブルに扱える使い易さを追求しました。

関西ペイント販売㈱は、建物外装改修時の提案アイテムとして『アレスダイナミックフィラー』と共に、『アレスダイナミックTOP』の拡販につとめてまいります。

<発売開始> 平成28年3月  
初年度販売目標 680,000 千円

<定価> アレスダイナミックTOP 主材 15 kg  
淡彩色 44,500 円

アレスダイナミック共通強化剤 強化剤 0.08 kg  
3,200 円

※主材一斗缶に対し強化剤2本使用します

本件に関する問い合わせ先：関西ペイント販売株式会社  
建築塗料販売本部 営業部 前田 学  
TEL：03-5711-8904 FAX：03-5711-8934

F★★★★

ホルムアルデヒド登録認定商品

非トルエン・キシレン塗料

(一社)日本塗料工業会 室内環境対策の  
VOC自主表示 カイドライン〜非トルエン・  
キシレン塗料〜に適合



ALES

# DYNAMIC TOP

水性反応硬化形ハルスハイリッチシリコン樹脂塗料

アレスダイナミックTOP

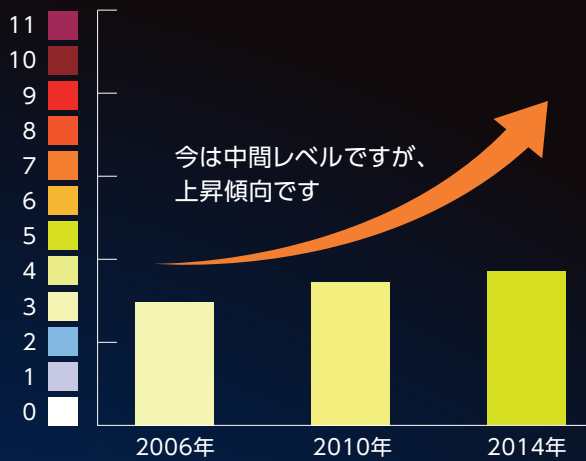


関西ペイント

# 外壁を長期に保護するために

風雨や熱や太陽光線など、地上では常に厳しい環境にさらされています。紫外線は人の肌と同じく、建物の仕上材を攻撃し劣化を促進させ、晴天の日だけでなく、曇りや雨の日でも降り注ぎます。さらに、オゾン層破壊の影響で紫外線量は年々増え続けていることから、人も建物も、健康を維持するには紫外線から護ることが最も重要です。

UVインデックス



〔気象庁 日最大UVインデックス(推定値)年間推移データ〕より引用

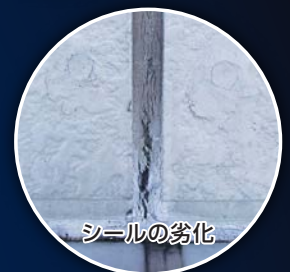
|      |       |   |
|------|-------|---|
| 11+  | 極端に強い | 日中の外出はできるだけ避け、必ず長袖シャツ、日焼け止め、帽子の利用を心がける。     |
| 8~10 | 非常に強い |   |
| 6~7  | 強い    | 日中はできるだけ日陰を利用し、できるだけ長袖シャツ、日焼け止め、帽子の利用を心がける。 |
| 3~5  | 中程度   |   |
| 1~2  | 弱い    | 安心して外出できる。                                  |

UVインデックスとは 紫外線が人体に及ぼす影響の度合いをわかりやすく示すため、紫外線の強さを示した世界共通の指標です。

## ■ 紫外線による健康への影響

| 人体への影響                      | 建物の仕上材への影響                            |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| ・皮膚がん<br>・シミ、ソバカス<br>・皮膚の炎症 | ・塗膜の破壊<br>〔つや引け、変色、フレ〕<br>〔ハガレ、磨耗・風化〕 |

## 塗膜の劣化を防ぐために 紫外線に強い塗料選びが大切



# 劣化の原因物質「ラジカル」に着目

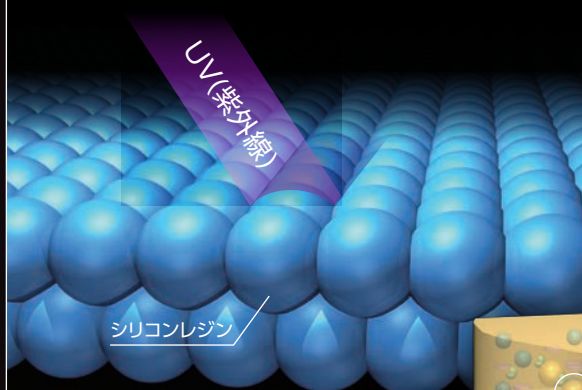
「ラジカル」とは、塗料の主成分のひとつ「酸化チタン」に紫外線が当ることにより発生する物質で、塗膜を破壊し劣化を促進させます。関西ペイントテクノロジーを駆使し、塗膜劣化の原因物質である「ラジカル」の発生を抑える技術を開発しました。

## 4つの技術で紫外線から外壁を護る

「ラジカル」の発生と活動を抑えることで、塗料の耐久性を飛躍的に向上させます。

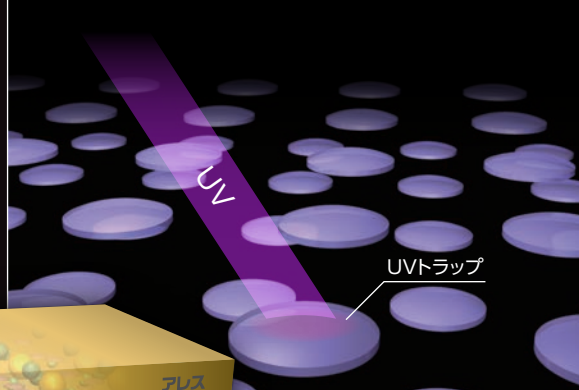
### 高性能シリコンレジン

超強力な結合エネルギーを持つ国産「高性能シリコンレジン」で紫外線劣化を阻止



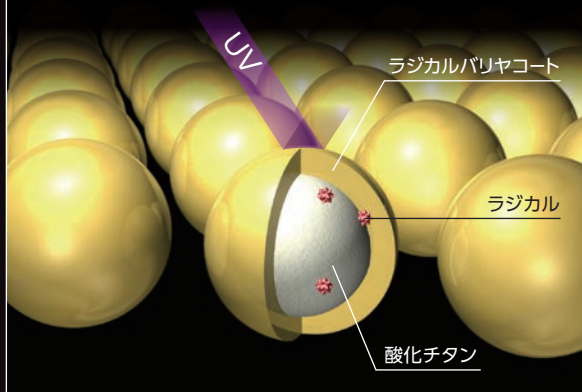
### UVトラップ

「高性能シリコンレジン」をすり抜けた紫外線を「UVトラップ」で無害化



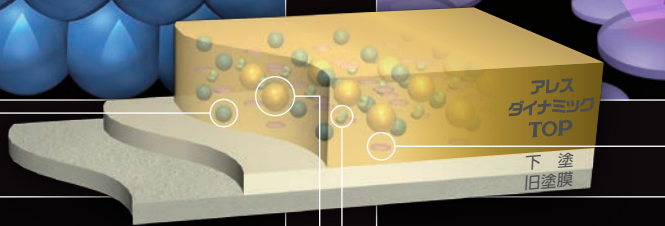
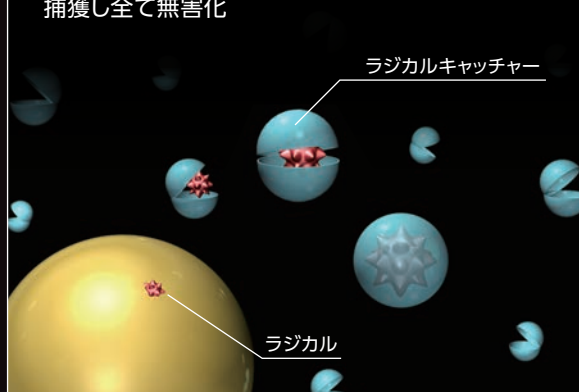
### ラジカルバリアコート

酸化チタンへの紫外線到達を阻止しラジカル発生を抑制



### HALSラジカルキャッチャー

極微量すり抜けた紫外線によって発生したラジカルは、HALSラジカルキャッチャーで捕獲し全て無害化



# 高性能の上塗で外壁を長期に保護

## アレスダイナミックTOPの特長



高耐候



完全水系工法



防カビ・防藻



超低汚染



強力な付着性

- 🔥 最上位品フッソに迫る高耐候性

🔥 樹脂性能を最大限に引き出すラジカル制御技術を採用

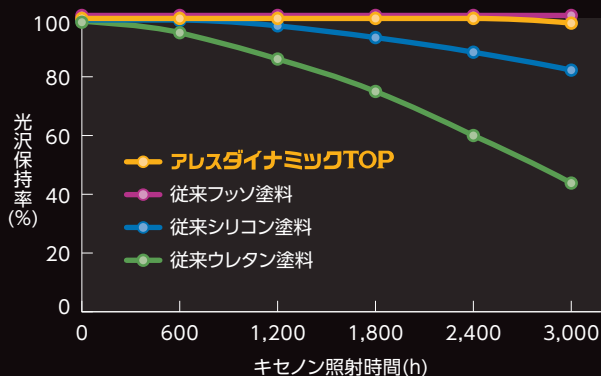
🔥 超低汚染

🔥 カビ、藻が付着しにくい
- 🔥 臭気の少ない水性塗料

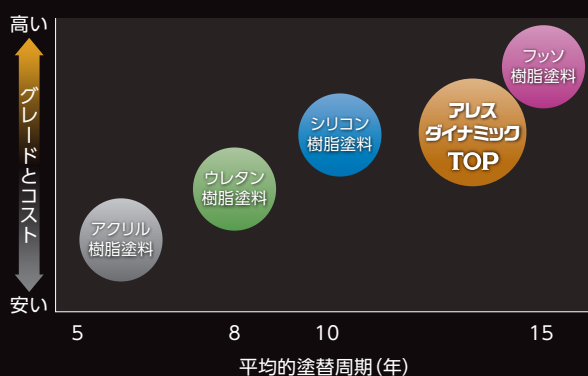
🔥 艶の選択が可能  
[ 艶あり、7部艶、5部艶、3分艶 ]

🔥 強力な付着力  
[ 強化剤を配合することで、湿潤面や高湿度環境での施工が可能 ]

### 促進耐候性試験結果

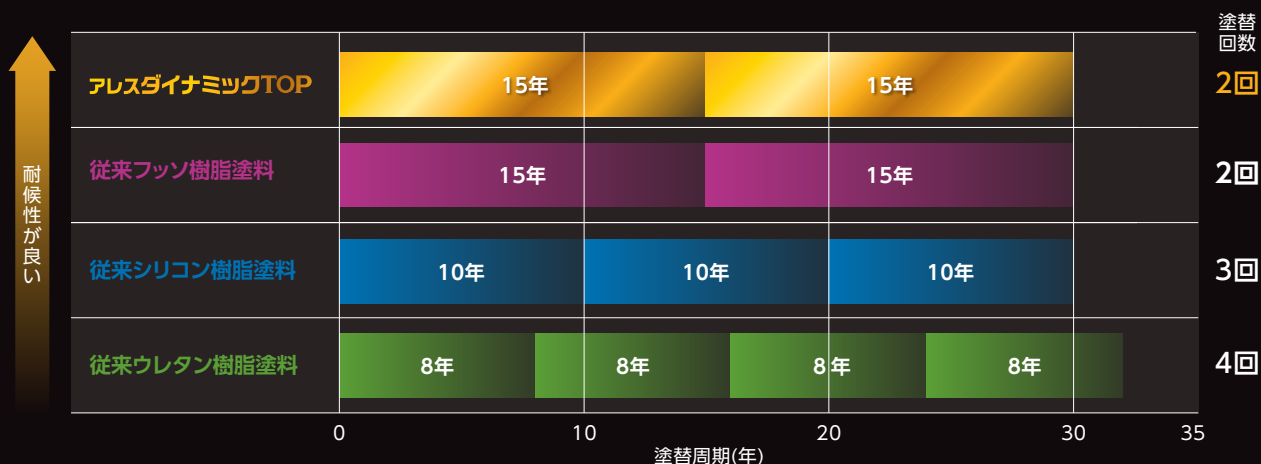


### 塗料の種類



耐久性の良い塗料を選ぶことで長期間の保護が可能になり  
長い目で見るとトータルコスト低減につながります

### 塗り替えサイクルコスト



# 「ダイナミック強化剤」を組み合わせ 湿潤面や高湿度で塗装可能

独自の緻密・強靱塗膜形成技術により高い付着力を発揮します。

下・中塗材「アレスダイナミックフィラー」さらに「ダイナミック強化剤」と組み合わせることで、従来は塗装できなかった湿潤面への塗装も可能になります。

DYNAMIC

強力な付着力により弱った面にも安心して塗装できます。

※手工具で簡単に剥がれたり、下地から浮いた旧塗膜に対しては、適切なケレンと下地処理を行ってから塗装してください。



DYNAMIC

プラス

梅雨時期への対応だけでなく高湿度になりやすい場所（北面、水回り付近、日陰）にも有効です。

ALES  
DYNAMIC  
TOP

プラスα機能

DYNAMIC

プラス

悪天候による工期遅延が少なくなり、近隣への心配もなくなります。



DYNAMIC

プラス

計画通り足場を撤去できるため、安全性や洗濯など日常生活への影響も少なくなります。

## アレスダイナミックTOP 付着試験 (JIS 基準値 0.7N/mm<sup>2</sup>) JIS温冷繰り返し10回試験後

主材のみ

乾燥面

1.31N/mm<sup>2</sup>

JIS 基準値 0.7N/mm<sup>2</sup>

主材+強化剤

乾燥面

2.2N/mm<sup>2</sup>

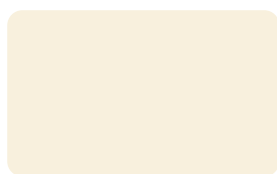
湿潤面

1.8N/mm<sup>2</sup>

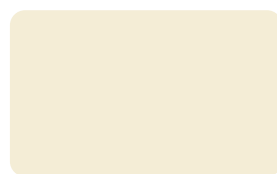
JIS 基準値 0.7N/mm<sup>2</sup>



KP-111



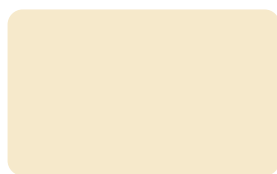
KP-110



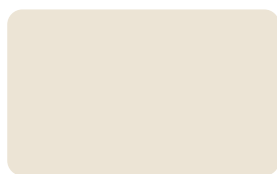
KP-112



KP-223



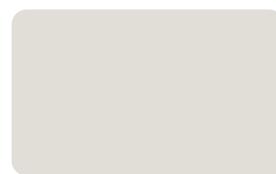
KP-310



KP-121



KP-133



KP-221



KP-120



KP-127



KP-131



KP-80



KP-337



KP-336



KP-141



KP-247



KP-330



KP-147



KP-350



KP-75



KP-347



KP-150



KP-352



KP-70



KP-356



KP-357



KP-368 ◎



KP-50 ◎



KP-367 ◎



KP-167 ◎



KP-376 ◎



KP-379 ◎



KP-170 ◎



KP-385 ◎



KP-185 ◎

この色見本は、印刷のため実際の仕上りと多少異なります。

◎印は、濃色のため材料費が割高になります。

## 仕上材



### アレスダイナミックTOP

主 材 : 15kg



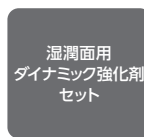
強化剤:0.08kg×2

## 下 塗 ・ 中 塗



### アレスダイナミックファイラー

主 材 : 16kg



強化剤:0.08kg×1

#### ■ アレスダイナミックTOP 標準塗装仕様(通常仕様) 適用下地 コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード・ALC・各種旧塗膜

| 工 程   | 塗料名・処置  | 荷 姿    | 塗装方法             | 標準所要量<br>(kg/m <sup>2</sup> /回) | 希釈率(重量%)    | 塗り重ね乾燥時間(23℃) |
|-------|---|--------|------------------|---------------------------------|-------------|---------------|
| 素地調整  | 劣化した旧塗膜をディスクサンダー・スクレーパー・皮スキ・ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レイトランス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。窯業系サイディングボードの場合、欠損、シーリング材の劣化部などは適切な処置を行う。 |        |                  |                                 |             |               |
| 下 塗   | アレスダイナミックファイラー  | 主材16kg | 中毛ローラー<br>砂骨ローラー | 0.30~0.50<br>0.80~1.50          | 5~10<br>1~5 | 8時間以上7日以内     |
| 上塗1回目 | アレスダイナミック TOP   | 主材15kg | ハケ・ローラー          | 0.12~0.14                       | 5~10        | 2時間以上7日以内     |
| 上塗2回目 | アレスダイナミック TOP   | 主材15kg | ハケ・ローラー          | 0.12~0.14                       | 5~10        | —             |

※下塗には、アレス水性エポレジン、浸透形Mシーラー、エコカチオンシーラー、アレス弾性ホルダー防水形、アレスゴムタイルニューラフなども使用可能です。

#### ■ アレスダイナミックTOP 標準塗装仕様(湿潤面・高湿度環境仕様) 適用下地 コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード・ALC・各種旧塗膜

| 工 程   | 塗料名・処置  | 荷 姿                | 塗装方法             | 標準所要量<br>(kg/m <sup>2</sup> /回) | 希釈率(重量%)    | 塗り重ね乾燥時間(23℃) |
|-------|---|--------------------|------------------|---------------------------------|-------------|---------------|
| 素地調整  | 劣化した旧塗膜をディスクサンダー・スクレーパー・皮スキ・ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レイトランス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。水滴はウエス、雑巾などで拭き取るか、エアブローまたは新品の中毛ローラーにて除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。窯業系サイディングボードの場合、欠損、シーリング材の劣化部などは適切な処置を行う。 |                    |                  |                                 |             |               |
| 下 塗   | アレスダイナミックファイラー  | 主材16kg、強化剤0.08kg×1 | 中毛ローラー<br>砂骨ローラー | 0.30~0.50<br>0.80~1.50          | 5~10<br>1~5 | 16時間以上7日以内    |
| 上塗1回目 | アレスダイナミック TOP   | 主材15kg、強化剤0.08kg×2 | ハケ・ローラー          | 0.12~0.14                       | 0~5         | 8時間以上7日以内     |
| 上塗2回目 | アレスダイナミック TOP   | 主材15kg、強化剤0.08kg×2 | ハケ・ローラー          | 0.12~0.14                       | 0~5         | —             |

※湿潤面塗装時の希釈は水分の巻き込みを考慮し、1~3%程度少なく調整してください。

※乾燥時間は乾燥面に比べ2~3倍程度乾燥が遅くなります。

※上塗2回目は乾燥した状態で塗装ください。

#### 施工上の注意事項

- 塗り替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシ等でぜい弱な塗膜を除去し高圧水洗を行ったのち、1日乾燥後塗装してください。乾燥時間が少ない場合は強化剤をご使用ください。
- 使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は長く放置されると容器内で分離(顔料沈降)することがありますので、十分攪拌の上、ご使用ください。
- 軽量PC板、押出成型板、GRC板などの緻密な素材には、溶剤系エポキシシーラー(マルチタイルコンクリートプライマー-EPO、浸透形Mシーラー)をご使用ください。
- 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を塗装してください。
- ハケ塗りや補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上り肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますのでご注意ください。
- 合成皮革、ゴムパッキン、塩化ビニル製品などと塗膜の接触は避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起こる場合があります。
- 汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 素材、旧塗膜の種類などの状態で塗付量の増減があります。
- ベース、強化剤は規定量の配合で行ってください。ベース、強化剤混合は攪拌機(オートマゼーラー)を用いて、よくかき混ぜて均一にしてから使用してください。(特に缶の四隅は十分に攪拌してください。)
- 使用期限(23℃で6時間以内)を越えた塗料は絶対に使用しないでください。(必ず使用期限内に使い切ってください。)使用期限以上経過した塗料は、所定の塗膜性能を発揮しないため、塗料状態が塗装可能であっても使用しないことを厳守してください。
- 希釈率は、環境温度や湿度によって変化する場合があります。
- 軽度の水滴はそのまま塗装できますが、水量が多いと付着力低下やパターンが作れなくなりますので、水滴をウエスで軽く拭き取るか、エアブロー、新品の中毛ローラーで水滴を除去してから塗装ください。
- 塗装用具などは、その日のうちに洗浄してください。(反応形塗料のため固まってしまう。)ハケ、中毛ローラーなどは水で落ちにくい場合、ラッカーシンナーを用いて洗浄してください。多孔質ローラーはシンナーで洗浄すると膨潤しますのでお湯で洗浄してください。
- 強化剤は湿気を吸いやすいため、保管場所、保管状態に十分注意してください。
- 強化剤は第3石油類危険物第4類となるため、危険物貯蔵保管場所を確保してください。(ベース、強化剤混合後は非危険物扱いとなります。)取扱中は出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、保護めがね、手袋、頭巾、長袖作業服、襟巻きタオルなどを着用してください。皮膚に付着した時は、石鹸水で洗い落とし、痛みや外傷が生じた時は医師の診断を受けてください。取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行ってください。

#### ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。  
詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

##### ■予 防 策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 对产品
- 目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、

医師の診察を受けること。  
吸入した場合:直気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。  
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。  
漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。  
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

##### ■保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

##### ■廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

##### ■施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ直立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。





KANSAI PAINT

MADE IN JAPAN

関西ペイント販売株式会社  関西ペイントホームページ [www.kansai.co.jp](http://www.kansai.co.jp)

|      |                    |                    |
|------|--------------------|--------------------|
| 本社   | TEL (03) 5711-8904 | FAX (03) 5711-8934 |
| 北海道  | TEL (0133) 64-2424 | FAX (0133) 64-5757 |
| 東北   | TEL (022) 287-2721 | FAX (022) 288-7073 |
| 関東信越 | TEL (028) 637-8200 | FAX (028) 637-8223 |
| 東京   | TEL (03) 5711-8905 | FAX (03) 5711-8935 |

|    |                    |                    |
|----|--------------------|--------------------|
| 中部 | TEL (052) 262-0921 | FAX (052) 262-0981 |
| 大阪 | TEL (06) 6203-5701 | FAX (06) 6203-5603 |
| 中国 | TEL (082) 262-7101 | FAX (082) 264-3285 |
| 四国 | TEL (0877) 24-5484 | FAX (0877) 24-4950 |
| 九州 | TEL (092) 411-9901 | FAX (092) 441-3339 |

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(16年02月01刷PKO) カタログNo.774